

## 第6話 KUL から SIN へ

KUL で 2 泊の滞在を終えて、今日(1 月 30 日)は SIN に移動する。搭乗予定の便は最近アジア地域で勢力を拡大しつつあるシンガポールの Tiger Airways だ。勿論、使用するターミナルは LCCT なので、出発時刻 11 時 55 分の便ではあるが搭乗手続き開始の 9 時 55 分間に合うよう空港に向かった。

今日は朝から生憎の雨で時折強く降っている。何故かこういう日は早めに行動をとった方が良いなどと勝手に決め付けたせいか、9 時 30 分前には LCCT に着いてしまった。

掲示板で手続きカウンターの場所を確認すると搭乗予定の Tiger Airways2457 便は「S05」となっている。

CHECKIN INFORMATION			
TIME	FLIGHT	TO	CO
11:10	<i>Air-Asia.com</i> AK 5104	K. KINABALU	R45
11:35	<i>Air-Asia.com</i> QZ 8055	MEDAN	S20
11:40	<i>Air-Asia.com</i> AK 0723	SINGAPORE	KIOSH
11:45	<i>Air-Asia.com</i> AK 5206	KUCHING	R47
11:50	<i>Air-Asia.com</i> QZ 8396	DENPASAR	S23
11:55	<i>Air-Asia.com</i> AK 0738	BANGKOK	S06
11:55	<i>tigerair.com</i> TR 2457	SINGAPORE	S05
12:00	<i>Air-Asia.com</i> AK 5324	P. LANGKAWI	KIOS
12:10	<i>Air-Asia.com</i> AK 0770	HAT YAI	S07

Sunday, Jan 30 2011

086 SAMSUNG

搭乗手続きは S05 を確認 … LCCT のディスプレイは韓国の SAMSUNG 電子製だ

とりあえず国際線出発ロビーに行ってみたが、さすがに S05 にスタッフの姿はない。その奥のカウンターには多くの旅客が列をつくっている。覗いてみると同じ 11 時 55 分に出発する AirAsia のバンコック行きの手続きを待つ人たちだ。

9 時 50 分、いよいよ搭乗手続き開始だ。最初確認した S05 ではなく S02 と S03 の 2 ヶ所を使用している。予約確認レターとパスポートを渡して、預入手荷物 1 個を台に置いて搭乗券を受け取る。これだっ！典型的な LCC の搭乗券が来た。スーパーで買い物をしてもらったレシートと全く同じ形状だ。短いレシートと少し長いレシートの 2 枚がステープラーで

止めてある。



AirAsia の牙城の様な LCCT の片隅で手続きはスムーズに行われた



レシートのような搭乗券 … 搭乗口で上の1枚がもぎられる

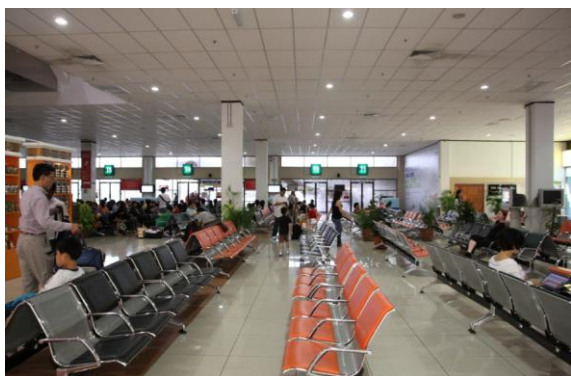


下は預けた手荷物に付けられたタグ、上は搭乗券の裏に貼られた半券

国際線旅客はビルの奥にある警備員に搭乗券を見せてエスカレーターで 2 階に上がる。保安検査場、出国審査の順に進む。ここには数軒の土産物店もあるが、再度エスカレーターで 1 階に降りると、免税店の眩いばかりの照明が目に入ってくる。比較的広いフロアーには多くのベンチが置いてあるので、少々の混雑でも問題なさそうだ。



出国審査を終えたら奥のエスカレーターで 1 階に降りる



搭乗待合室は広い … 正面の緑色の明かりが搭乗口



LCC の利用者は国籍を問わず若い人が多い

そのベンチに腰掛けて搭乗を待っていると、アナウンスで「Tiger Airways 2457 便は悪天候の影響で到着が遅れるため、出発を 12 時 30 分に変更します」との案内があった。ここも雨だが SIN はもっと悪いのかもしれない。

12 時 10 分、いよいよ搭乗開始だ。ゲートで例のレシートの 1 枚目をもぎってもらい、建物の外へでる。通路の上には簡単な屋根があるので雨に濡れる心配はない。中央部にロープが張っており、出発客と到着客の動線が分離されている。屋根伝いに歩いて行くと搭乗機の鼻(機首)が見えるところまで到達する。そこから屋根付きタラップの下まではちゃんと傘を貸してくれる仕掛けだ。30 年も前の羽田空港でもこんな光景があったのを思い出した。



(続く)

屋根のある通路を通して搭乗機の近くまで行ける (写真は AirAsia の A320)